

シチズンシップ共育企画
2007 年度事業概要報告
および 2008 年度方針

シチズンシップ
共育企画

Planning Office for Citizenship Co-Learning.

「じぶん」になる、「しみん」になる。

〒661-0965 兵庫県尼崎市次屋 1-2-20 ハイツアメニティ 2-203 (住所変更しました)
Tel 070-6506-0369 E-mail kwnk@nifty.com URL <http://homepage2.nifty.com/citizenship/>

シチズンシップ共育企画 ミッション

「じぶん」になる、「しみん」になる。

アクティブな市民になれるために。民主的な対話を実感／実現するために。

市民的リテラシーを獲得した民主主義の担い手が育つ社会の実現のために。

シチズンシップ共育企画は、「市民としての意識と行動力」が向上するための学びの場をつくる NPO です。特に、市民が社会参画していく技能の内、「コミュニケーション力」「協議力（合意形成力）」「マネジメント力」「社会問題発見力」の4つの市民力と、社会参画を支援する力（教育ファシリテーション力）を中心テーマに据えて、講座・ワークショップを実施しています。

任意団体であるシチズンシップ共育企画は、代表者である川中大輔の個人事業として、昨年末に2007年度の会計年度末を迎えました。ここに概要をご報告いたします。

*07年度中に年度変更時期を変更したため、本事業報告は4月1日～12月31日の報告となっています。

1. 07年度事業報告のハイライト

- (1)高校生 NPO インターンシップ事業、試行実施！
- (2)生と死の共育ワークショップシリーズ、スタート！
- (3)教育ファシリテーター講座、実施2年目に。
- (4)ミーティング・ファシリテーター講座の専門編2コースの実施
- (5)NPO マネジメント関連講座の参加者約1110名！
- (6)ユースナレッジマーケット、集合研修型から合同研修型へ開催方式を転換
- (7)神戸市協働と参画のプラットフォームの協働コーディネーター業務を受託

2. 07年度事業実施体制

当会では、規約に基づき、意思決定機関として運営委員会を設置し、原則毎月1回の定例会議と、原則年1回程度のリトリートを開催しています。運営委員会では、組織全体のビジョンや各種方針の策定、事業計画の策定や事業報告の承認等を行う他、各種事業の進捗状況共有、新規企画の実施承認等を行っています。今年度は、10回の定例会議を開催いたしました。

執行体制としては、事務局長のもと、ファシリテーターやインターン、アソシエイトが事業ごとに担当者を明確にし、プロジェクトチーム形式で事業推進に取り組んでいます。

〈メンバー一覧〉

- ・運営委員会 川中大輔（代表・事務局長）、大本晋也、小林健司、東末真紀、三浦一郎
- ・ファシリテーター 川中大輔、三浦一郎
- ・インターン 寺尾恭輔、南大樹
- ・アソシエイト 佐川育恵、神野有希、濱門正樹、宮岸洋輔

3. 07 年度各事業報告

■ 市民教育事業

(1) 高校生 NPO インターンシッププログラム (担当：濱門、南、神野、宮岸)

今年度から新たな試みとして、阪神間の高校生を対象とする市民教育プログラムの開発および試行実施に取り組みました。高校生のボランティア学習としては、総合的な学習の時間によるものの他、社会福祉協議会等がコーディネートしているサマーボランティアプログラム等で既に取り組みされており、量的な充実が進んでいます。しかし、短期間・限定的な関わりをする体験型のプログラムが中心になっており、質的充実には課題が残っています。

そこで、当会では、高校生が社会の中で一定の責任を負い、その責任を果たす中で社会における自分の存在意義を見だし、自分の生き方と社会への関わりを結びつけられるような長期実践型のプログラムが教育機会として必要であるとの認識に立ち、「高校生 NPO インターンシップここからスタートプログラム (ここスタ)」をスタートさせました。

最初に、高校教育現場へのヒアリングを行い、高校教育の現状を確認。そこで確認された現状を踏まえ、推薦入試等で進路を決定した高校 3 年生を対象に、10 月から 12 月の 2 ヶ月間、特定のプロジェクトの企画段階から実施に至るまでを担うプログラムをデザインし、兵庫県・大阪府の 6 つの NPO の協力を得て、9 月より兵庫県内の高校にて募集活動を行いました。

今年度の参加者は兵庫県立西宮今津高校の高校 3 年生 1 名でしたが、受入先 NPO・送出元である高校、そして有識者による評価検討会等で今後の改善点が明らかとなると同時に、プログラムの有意味性が確認されました。

08 年度は、試行実施の結果を踏まえた改善を加え、拡充実施を行うこととします。詳細な報告については、ウェブページにてご紹介しています。

▷ 開催告知：<http://homepage2.nifty.com/citizenship/kokosta.pdf>

▷ 実施報告：<http://homepage2.nifty.com/citizenship/houkoku07.pdf>

(2) 企画協力 (担当：川中、寺尾)

若者の社会参加を促進するために、以下の取り組みにおいて、助言指導や講師派遣等を通じて、企画協力しました。

- ・京都市ユースサービス協会主催「選挙ドキドキ初体験キャンペーン」
- ・プロジェクト未来なは主催「僕らのアクションプログラム」

■ 共育ワークショップ事業

(1) 生と死の共育ワークショップ (担当：川中)

イギリスのシチズンシップ教育では、シチズンシップの形成にあたって、精神的成長・道徳的成長・社会的成長・文化的成長という 4 つの成長機会が必要であるとされています。個々人が自らの人生の

意味や目的を見いだす精神的な成長（spiritual grow）は「市民としての行動」に軸をもたらすものです。しかし、昨今の学校教育／社会教育の両方の教育現場で取り組まれている精神的成長のための取り組みは、職業観の形成を主眼とするキャリア教育が中心であり、「生きる意味」と向き合うプログラムは決して十分とは言えません。

そこで、当会では、青木将幸ファシリテーター事務所、大連寺・應典院の協力を得ながら、「生と死の共育ワークショップ」プログラムの開発をスタートさせました。今年度はその第1回目として、11月17日に、「『もう死にたい』という友人にあなたはどうか接するか？」（ゲスト：長尾文雄さん、秋田光彦さん、青木将幸さん、進行：川中大輔）を実施。11名の参加者を得ました。

本事業は08年度以降も継続実施し、「生と死の共育ワークショップ」のプログラムのストックの形成を図ります。

▷開催告知：<http://homepage2.nifty.com/citizenship/de0701.htm>

▷実施報告：<http://homepage2.nifty.com/citizenship/kiroku.htm>

(2)講師派遣（担当：三浦、佐川、川中、寺尾）

青少年・幼児を対象に、自分の生き方やあり方と向き合いつつ、価値観を交感する他者とのコミュニケーションを促すワークショップへのファシリテーターの派遣も行っています。今年度は、以下のワークショップへファシリテーターを派遣しました。

- ・少年少女合唱団マーレ主催「ファシリテーションを取り入れた子どもの心を育む歌声交流活動」
「杉原千畝の心を考えるワークショップ」（5月19日）（参加者21名）

■ファシリテーター養成事業

(1)教育ファシリテーター講座（担当：川中、小林）

学校や社会教育施設において、オルタナティブ教育を中心に開発されてきた参加型学習やファシリテーションの技法が新たな学びあり方として注目され、その実施展開が本格化されていっています。また、総合的な学習の時間の導入や地学連携が進む中、NPOスタッフが学校等の教育現場において参加型学習を実施する場面も増加しています。

参加型学習の場において、学び手は「参加型の文化」を体得することになり、また、自分の頭で考え、活動と学習を統合していくスキルを習得することになります。そこで、当会では、2006年度より「教育ファシリテーター講座」を実施し、適切なファシリテーションの技法を習得できる機会を提供しています。今年度は、8月4日から5日にかけて基礎編が実施され、参加者15名（申込者16名）を得て実施されました。

08年度は、過去二年間の開催結果を踏まえ、階層化を進め、基礎編と中級編の2コースでの開催を企画します。

▷開催告知：<http://homepage2.nifty.com/citizenship/edu-facil02.htm>

(2)ミーティング・ファシリテーター講座 (担当：川中、小林、佐川)

市民活動組織の運営において、メンバーの力を引き出し、そして統合していくためには、その組織の性質上、参加型会議の運営能力が求められます。また、会議の場が、単純な情報共有や承認の場ではなく、ファシリテーションを通じて、個々人のもっている知恵や知識、能力が共有されていき、創発の場となることで、新たな価値の創造が実現します。

そこで、当会では、青木将幸ファシリテーター事務所の協力を得て、2004年度より「ミーティング・ファシリテーター講座」を実施し、市民活動組織のメンバーの会議力を向上する機会を提供しています。今年度は、同講座の専門編として、6月2日～3日にかけて「ファシリテーショングラフィックを学ぼう!」(参加者12名)、11月18日に「アイスブレイク100連発」(参加者10名)を開催しました。

ミーティング・ファシリテーションについては、書籍発行や各地の中間支援組織が主催する講座でも取り上げられるテーマとなっており、08年度以降は関西地域での需要充足状況を見極めながら、企画検討していきます。

▷開催告知：<http://homepage2.nifty.com/citizenship/fg0702.htm>
<http://homepage2.nifty.com/citizenship/ib0701.htm>

(3)学びのデザイン研究会 (担当：東末)

関西地域のファシリテーターのネットワーク化と、形式知化される前の現場レベルでの実践知を共有する場として、当会では2006年度より「学びのデザイン研究会」を不定期で開催しています。今年度は4回の研究会を実施しました。

- ・第12回「プロセスを丁寧に記録する」(発題：東末真紀さん)(4月26日)(参加者3名)
- ・第13回「今話題のリスクコミュニケーションツールを体験しよう」(発題：西修さん)
(6月21日)(参加者10名)
- ・第15回および第16回「行政サイドの指導者養成事業のリメイキング」(発題：大本晋也さん・西川文雄さん)(8月23日・9月14日)(参加者：6名)

▷開催記録：<http://homepage2.nifty.com/citizenship/study.htm>

■教育機関支援事業

(1)大学講義における講師 (担当：川中、寺尾)

大学等の高等教育機関において、シチズンシップ教育の視点を踏まえた授業を展開するため、以下の大学・高専において非常勤講師として講義科目を担当しました。

- ・大阪成蹊大学芸術学部(キャリアプランニング論)(履修者：75名)
- ・大阪樟蔭女子大学学芸学部(教育社会学)(春学期履修者：53名)(秋学期履修者：34名)
- ・岐阜県立森林文化アカデミー(NPO概論)(履修者：10名)
- ・甲南女子大学文学部「NGO論B(日本のNGO)」(履修者：51名)

- ・大阪経済大学大学院人間科学研究科「人間共生特殊講義」（履修者：1名）

(2)外部委員（担当：川中）

教育機関の支援活動として、研修・講座のみならず、以下の機関の外部委員として、テーマに基づく助言指導やプログラム開発、調査研究補助等を担いました。

- ・(財)京都市ユースサービス協会企画委員
 - ▷テーマ「ユースサービス事業における連携・協働・ネットワーク」
- ・総合幼児教育研究会外部ブレーン
 - ▷テーマ「次世代研修および主任者研修のプログラムデザイン」
- ・(財)大学コンソーシアム京都 京都高等教育研究センター「連携型教育研究プロジェクト」研究員
 - ▷テーマ「新しい教養教育の創造（特色 GP 採択事業）」
- ・(財)大学コンソーシアム京都リエゾン・オフィス・アドバイザー
 - ▷会報誌における特集座談会の進行および編集、学生交流事業における助言
〈発行物〉『UNIVERSITY CONSORTIUM Kyoto』第28号-第29号
「学びの座談会－「学び」と世代の間にあるものとは（高校生編・大学生編）」
- ・(独)国立青少年教育振興機構国立中央青少年交流の家施設業務委員会委員
- ・(特活)BrainHumanity リージョナル・パートナー

■NPO 支援事業

(1)講師派遣プログラム（担当：川中、小林）

「市民としての行動力」が社会において具体的に発揮されるためには、思いをカタチにしていくマネジメントスキルが必要不可欠となります。そこで、当会代表の川中は当会設立以前の2001年よりNPO マネジメント講座の講師依頼を積極的に引き受け、当会が設立された2003年度以降、全国各地で毎年40～50件程度の講座を担当しています

今年度は、4月から12月の8ヶ月間で37件（参加者計約1110名）の講座へ講師派遣を行いました。下表はご依頼いただいた37件に加え、その他に担当したNPO マネジメント関連の研修・講座について、テーマ別で分類したものです。

テーマ	件数(←06年度)	テーマ	件数(←06年度)
市民組織運営の基礎	4 (←2)	会議・ファシリテーション	7 (←6)
企画	8 (←6)	広報	3 (←7)
ボランティアマネジメント	2 (←8)	人材育成・リーダーシップ	5 (←5)
評価	2 (←8)	協働・CSR	4 (←1)
まちづくりのすすめかた	3 (←0)	市民教育のデザイン	1 (←1)
NPO 支援の基礎	1 (←0)	キャリア教育のデザイン	1 (←1)

年度時期の変更に伴い、前年度と単純に比較できませんが、06年度に依頼数の多かった評価や広報、ボランティアマネジメントとをテーマとする講座が減り、今年度は企画や協働をテーマとする講座が増加しています。特に企画力については、一定年数、特定の活動を地域で展開してきたものの、やや閉塞気味にある現状を突破する企画を立案したいという受講生が増えており、活動の立ち上げよりも活動のステップアップを支える取組みへのニーズが高まっていることが予測されます。会議やファシリテーションについては、昨年度と同様の規模でニーズが存在し続けていることがわかります。

08年度は、活動のステップアップやステージアップのニーズに応えられる講座プログラムの充実化を図りつつ、従来のプログラムの改善を進め、依頼件数の増加を目指します。

- ・ 5/12 京都学生祭典実行委員会幹部研修「会議の上手な進め方」(19名)
- ・ 5/20 CLUB GEORDIE「合意形成のファシリテーション」(28名)
- ・ 5/26 BumB「若者スキルアップ講座(フォローアップ編)」(6名)
- ・ 6/8 北九州NPO研究会「市民力のデザイン」(25名)
- ・ 6/9 北九州NPO研究会「価値を創造するNPO支援」(12名)
- ・ 6/9 Bee&GGP「共感とコミットメントを育むリーダーシップ」(21名)
- ・ 6/20 神戸WS研究会「まちづくりファシリテーターvs研修系ファシリテーター」(約20人)
- ・ 6/23 上町台地からまちを考える会「上町台地のコミュニケーションデザイン」(約70人)
- ・ 6/25 ちば市民活動・市民事業サポートクラブ「NPOの広報力パワーアップ講座」(18人)
- ・ 7/3 甲南女子大学「あなたはどのように記憶されたいか?<講演会>」(約60人)
- ・ 7/26-27 総合幼児教育研究会教研大会分科会「やる気を引き出すリーダーシップ」(43名)
- ・ 7/16 JICA/CODE「シャモリ平原における農業開発と地域防災の相互補完促進事業」(7名)
- ・ 8/6 関西セクシュアルヘルスユースネットワーク主催「上手なワークショップのつくりかた」(約20名)
- ・ 8/9 三田市社会福祉協議会地域福祉活動者リーダー研修「リーダーの役割とは」(55名)
- ・ 8/21-24 プロジェクト未来なは「僕らのアクションプログラム」(13名)
- ・ 8/29 JAE「キャリア教育第2回プログラム開発委員会」(8名)
- ・ 9/2 日本歯科衛生士会九州ブロック連絡協議会主催「リーダー研修会」「新規会員を獲得する企画づくり」(39名)
- ・ 9/15 岡山県ボランティア・NPO活動支援センター「あなたの組織を発展させるコミュニケーション6つの虎の巻」「コミュニケーション会議の術」(42名)
- ・ 9/22 白井市教育委員会「白井市民大学校まちづくり学部まちづくりパートナー学科」「元気の出る会議のコツ」(16名)
- ・ 10/16-17 ひょうごボランタリープラザ「ボランティアコーディネータースキルアップ研修2007」(22名)
- ・ 10/18 神戸市社会福祉協議会「市民福祉大学」「ネットワーキング研修」事例発表(8名)

- ・10/20 白井市教育委員会「白井市市民大学校」「協働をつくるワークショップのつくりかた」「思いを実現する企画のつくりかた」講師（13名）
- ・10/21 兵庫県神戸県民局「ひょうごふるさと創生塾」「NPOの運営」講師（36名）
- ・11/1-2 国立岩手山青少年交流の家「ニューリーダーフォーラム」「これからの生徒会活動をデザインする」講師（124名）
- ・11/4 京都市社会福祉協議会労働組合「ファシリテーション研修」講師（23名）
- ・11/9 立命館大学産業社会学部「ユースサービス概論」第8講「政治参加とユースサービス」ゲスト講師（12名）
- ・11/10 白井市教育委員会「白井市市民大学校」「思いを実現する企画のたてかた」「仲間が増える魅力的な組織のつくりかた」講師（12名）
- ・11/14 スペシャルオリンピックス日本・宮城「CSRフォーラム」「企業とNPOの新たな関係づくり」コーディネーター（約100名）
- ・11/15-16 国立中央青少年交流の家「青少年指導者基本研修」「事業の企画・運営・評価・安全管理」講師（23名）
- ・11/23 スペシャルオリンピックス日本・徳島「かがやき徳島交流フォーラム」「ボランティア活動やCSR活動で得られるもの」ファシリテーター（約100名）
- ・11/26 堺市市民活動コーナー「地域に生きる市民活動団体・NPOになるための講座」「仲間集めの秘策を学ぼう」講師（12名）
- ・12/1 住吉区アクションプラン推進委員会地域活動部会「すみちゃんネット情報交換会」ファシリテーター（約70名）
- ・12/2 熊本県歯科衛生士会「リーダー研修会」講師（36名）
- ・12/6 児童健全育成推進財団「中堅児童厚生員等研修会」「地域福祉における広報」ファシリテーター（69名）
- ・12/7 こども未来財団「子育てひろば研修セミナー」「スタッフ・ボランティアのコーディネーター」助言者（24名）
- ・12/22 広島大学「第5回キャリアパスガイダンス」「アイデアを形にする手法」講師（32名）
- ・12/23 同志社大学大学院総合政策科学研究科ソーシャル・イノベーション研究コース「M1研究発表会」「社会を変える研究をどう実現させるか」講師・コメンテーター（14名）

▷報告レポート：<http://homepage2.nifty.com/citizenship/kiroku.htm>

(2)ユースナレッジマーケット（担当：川中）

大学における地学連携事業の推進や大学ボランティアセンターの設置等の流れを受けて、市民公益活動に取り組む学生団体は、年々増加傾向にあります。しかし、量的拡充に比して、社会への実質的な貢献は未だ十分なものとは言えません。その背景として、メンバーの入れ替わりの激しい学生団体においては、マネジメントの発展が難しく、一定水準の活動に終始する傾向があるからではないかと

思われます。そこで、当会では「若者のチカラを社会のチカラに」をスローガンに、2006年度より学生団体のマネジメント支援の取組みとして、学生団体に対象を限定した研修会「ユースナレッジマーケット」を実施しています。

今年度は、このユースナレッジマーケットの転換期となりました。従来は、多くの団体から役員が参加してくる集合研修型と呼ばれる研修会を開催してきました。今年度も集合研修型の開催方式で「YKM#2 グループを元気にする合宿プログラムのつくりかた」というテーマのもと、6月16日に開催し、4名の参加者を得ました。しかし、集合研修型では、研修を受けた役員学生が自団体にて研修内容を全体共有し、組織運営改善の方策を意思決定するまでに多くの時間が割かれ、実質的な改善につながりにくいことを過去の受講団体への追跡調査で確認しました。

そこで、複数団体のメンバー全員が参加する合同研修型と呼ばれる開催方式への転換を決定し、08年度の実施に向けて参加団体を呼びかける等の準備に取り組みました。その一環として、学生団体合同マネジメント研修版の「ユースナレッジマーケット」への参加を表明した団体に個別プレセミナーという位置づけで、12月16日に「CLUB GEORDIE 引継研修～2007年の活動をふりかえる～」を実施し、約30名の参加者を得ました。

08年度は、3団体程度の学生団体の参加のもと、学生団体の合同マネジメント研修（複数回実施）を展開していきます。その際、企画立案から各参加団体の役員に関わってもらうことで、学生団体のニーズに即したマネジメント支援を実現していきます。

▷YKM#2 開催告知：<http://homepage2.nifty.com/citizenship/ykm2.htm>

(3)受託事業（担当：川中、三浦、南）

今年度より新たに神戸市市民参画推進局から「協働と参画のプラットフォーム」における「NPOとの協働に関する研究・調査業務および協働コーディネート業務」を受託し、市民参画のまちづくりの推進に取り組みました。

具体的には、市民提案型協働事業助成であるパートナーシップ活動助成の評価検証業務および付随する調査研究、NPOや地域組織と神戸市の協働コーディネート業務（相談対応等）、庁内向けの意識啓発業務等を行いました。

また、神戸市産業振興局から「コミュニティ・ビジネス起業セミナー業務」を受託し、07年度から08年度にわたって、連続3回・4日間の講座を開催することになりました。今年度は、「6人の鉄人に学ぶ！コミュニティ・ビジネス起業講座」と題した講座プログラムを立案し、講座開催にかかる各種業務を担い、また、第1回目講座「コミュニティ・ビジネスって何だ？」を12月15日に開催し、6名の参加者（申込者9名）を得ました。

協働と参画のプラットフォームの協働コーディネート業務については、08年度も継続的に受託できるように努め、NPOと行政の協働、地域組織とNPOの協働について、相互理解の促進と、適切な協働／深い協働の進展に取り組んでいくことを目指し、市民参画のまちづくりの進展に貢献します。

▷産業振興局受託講座開催告知：<http://homepage2.nifty.com/citizenship/kobecb07.pdf>

(4)外部委員（担当：川中）

NPOの支援活動として、研修・講座のみならず、以下の機関の外部委員として助言指導や審査等を行いました。

- ・ edge アソシエイト
 - ▷ 社会起業ビジネスプランの第一次審査
- ・ ドーンセンター事業公募選考委員会委員
 - ▷ 同センターNPOとの協働公募事業の審査
- ・ (特活)まちなか研究所わくわく理事（社外役員）
 - ▷ 理事会合宿の進行、組織運営および各種企画立案への助言

(5)原稿執筆（担当：川中）

情報誌『NPO マネジメント』（IIHOE 刊行）の「誌上マネジメント相談」コーナーにて定期連載執筆を担当しています。今年度に執筆・掲載されたものは以下の通りです。

- ・ 「組織マネジメント講座の内容を最大限に生かすための“受講のありがた”とは？」、『NPO マネジメント』第 47 号、pp.15-17
- ・ 「他施設の見学やヒアリングの際の留意点は？」、『NPO マネジメント』第 49 号、pp.14-16
- ・ 「担当理事制を生かすためには？」、『NPO マネジメント』第 51 号、pp.16-18

4. 07 年度決算のトピックス

■ 収入の部

(1) 講師派遣料収入は微増

NPO マネジメント関連の研修・講座が中心の講師派遣料については、年度次期変更に伴い前年度よりも件数が減少しているのにも関わらず、前年比約 76 万円増となっています。1 件あたりの単価は概ね横ばい傾向ですが、大型依頼が幾つかあったことが背景となっています。近年、小型研修や個別研修が増加傾向にあること等に伴い、1 件あたりの単価は低下傾向にあります。そのため、08 年度には、件数増加が見込まれるものの、講師派遣料収入については横ばいまたは減少が予測されます。

(2) 委託事業収入は大幅増

神戸市市民参画推進局からの協働と参画のプラットフォームでの業務委託を受けたことにより、今年度から委託事業収入が大幅に増えました。組織の経済的安定に大きく貢献する収入額ですが、委託料収入に依存することのないよう、自主財源率を高めるように努め、08 年度には、委託料収入が事業収入の 40%以下（今年度は約 42%）に収まるようにいたします。

■支出の部

今年度の支出では、(1)給料手当、(2)地代家賃、(3)交通費において、大幅に支出額が増加しています。今年度より、代表の川中を専従職員としたこと、ミーティングスペースを有した事務所へ拠点を移転したことが、給料手当と地代家賃の増加につながっています。この結果、管理費は前年度比約290万円増となっており、事業費の前年比約29万円増を大きく上回る増加となりました。

管理費の増加については、次年度以降も継続するものです。08年度は、収入を増やす努力を怠らず、また、同時にミーティングスペース等が支出に見合う利用度となるよう、利活用を進めます。

交通費の増加については、遠隔地での研修・講座の担当が増えたことのみならず、近隣地でも公共交通機関（主に電車）を利用して出向くことが大幅に増えたことに拠ります。08年度もこの傾向が続くことが考えられますので、経費削減のため、割引等の利活用に努めます。

■全体を踏まえて

全体として、当期差益は前年比40万円増となっていますが、08年度には新規の自主事業の取組みの増加に向けて、企画立案を進めています。そうした新規事業開拓費用として、今期利益より40万円以上の資金が用いられることとなる見込みです。今後も経済的な持続可能性を担保しつつ、NPOとして、積極的に社会再投資することを継続していきます。

おわりに

2007年度、当会が関わったプログラムは58件となり、参加者総数は約1480名となりました。今年度は新しい試みも増え、また、収入も増加しました。こうしたことから、量的発展について一定の成果が見られた年度であったと概括できます。

しかし、新しい試みは端緒についたばかりであり、また、収入も自主財源率で60%を下回る等、その拡大は脆弱な基礎の上にあることは否めません。08年度は基礎固めを行いつつ、新規取組みも含めて、活動の幅を拡張していければと考えています。

市民社会の担い手を育むという当会に課せられている大きな社会的責任を一層果たし、市民社会の成熟に貢献できるよう、スタッフ一同邁進して参ります。引き続き、関係各位の多大なるご協力とご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

シチズンシップ共育企画

代表 川中 大輔